



## 臨時国会閉幕

10月24日に開会した臨時国会は、安倍首相の冒頭「国民の懸念にしっかりと向き合っていく」と述べた。

結局は「日程ありき」で、会期延長もなく、第一次補正予算や政府提出法案13本を全部成立させて、12月10日に閉会した。

### 悪法3本を強行採決

この国会で安倍政権は、国民が猛反対していた悪法3本をほとんど審議なく強行採決した。水、漁業、雇用を財界の利潤のために売り渡した。また、次期「防衛計画大綱」ではアメリカの武器を大量に購入し、「専守防衛」から逸脱した。

12月8日未明、外国人労働者を受入れる「入国管理法改正案」は強行可決で参院を通過した。改正案は重要な明記がなく、19年4月から外国人労働力を受け入れると差別と劣悪な労働条件を強いることは明らかで、非正規労働者の賃金低下も懸念され、社会問題化する恐れを内包している。また、「水道法改正案」は民間下水道事業者に水道の運営権を任せ、外資系など民間業者が参入することになる。その結果、外国で起きている水道料金値上げ、サービス、質の低下につながるようになる。

もう一つの悪法は、漁業に企業を参入させ、漁協や地域を疲弊させる「漁業法改正案」も強行可決・成立させたことだ。

## 2020年 新憲法施行の目標「気持ち変わらず」

安倍首相は10日、臨時国会閉幕に合わせ記者会見。昨年5月に打ち出した2020年の新憲法施行という目標について「今もその気持ちに変わりはない」と述べた。しかし、公言してきた今国会での自民党憲法改「正」案の提示が来年以降に持ち越され、それに代わる新たな具体的日程は示さなかった。

会見で「政党が改正案にどういう考え方を持っているか開陳しなければ国民も議論を深めようがない」と発言した。

千葉市内では、改憲阻止や平和を考える集会在12月7～8日にかけて開催された。

### 12・7平和を守る千葉県集会

12月7日(金)午後6時30分から千葉市民会館3階・特別会議室2で50名の参加者を集めて「12・7平和を守る千葉県集会」が開催されました。**主催は国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議。**

### 「東アジアの非核化と改憲阻止」

と題して、講師の浅野健一さん(ジャーナリスト、人権と報道・連絡会世話人)。

#### 【要旨】

- ・第2回米朝会談に向け着実に進む朝鮮半島の平和実現・2回目の朝米首脳会談へ
- ・朝鮮半島の非核化であって朝鮮の非核化ではない・改憲を阻止し、憲法を実現する広範な闘いを!

浅野健一さんの「改憲を阻止し、憲法を実現する広範囲な闘いを」

**憲法改悪阻止は、現在の最重要課題。朝鮮民主主義人民共和国(以下「朝鮮」)への先制攻撃も辞さない危険な世論ができつつある中で、今後どうすべきかを真剣に考える時。**

### 《浅野さんの憲法に関するメモ》

自民党の憲法改定案は自衛隊幹部が原案をつくった。戦争のできる国への転換は売国の要請。

憲法前文・9条について3つの流れがある。

- ①現状の対米追従、米軍再編の中で米国の核の傘の下=植民地状態の継続
- ②米軍基地撤退、独立国として国軍創立・徴兵制導入=核武装検討・核兵器を持たない大国は

ない・国家予算の中で軍事予算を拡大、軍による政治への影響力の増大、軍需産業依存の経済体質

③現行憲法の精神をより発展させる・自衛隊をサンダーバード的な地震・災害などから市民を守る組織(水島朝徳・早大教授が提言)に再編、世界の反核、非戦のリーダーに一つの選択しかない。護憲=非武装中立こそ最も現実的な選択である。

### 安倍政権は対米隷従の外交・防衛政策

自民党は17年10月の総選挙で、自衛隊の明記、緊急事態条項、教育無償化、参院選「合区」解消という「改憲4項目」を公約に挙げていた。朝鮮の脅威を理由に挙げて、憲法9条に自衛隊を明記し、戒厳令に等しい緊急事態を導入しようとしていた。安倍政権は対米隷従の外交・防衛政策を取りながら、「戦前回想」を狙っている。

安倍政権の下での壊憲を阻止し、東海第二原発などの原発再稼働に反対する広範な闘いが必要だ。そして来年夏の参院選挙で自公を完敗に追い込もう。

著書『安倍政権・言論弾圧の犯罪』(社会評論社) 編著『ナナムの家を訪ねて日本慰安婦から学んだ戦争責任』(浅野健一ゼミ編、現代人文社)、『検証・「拉致帰国者」マスコミ報道』(人権と報道・連絡会編)など著書多数。

質疑応答後、集会アピールを千葉県高教組の飯島書記長が行い、会場の拍手で採決されました。

抜粋「私たちは誰もが安心して暮らせる平和な多文化共生の社会を心から願っています。増え続ける非正規労働者や生活保護世帯の将来に対する不安と生活苦を解消するためには、軍事よりも雇用や福祉の充実が必要です。憲法9条を堅持し、誰一人排除されることなく、互いの違いを認め合う社会を実現し、安心して暮らせる平和な社会を築かなければなりません。今こそ憲法「改正」ではなく憲法を「活かす」ときです。「基本的人権の尊重」を活かし、「国民主権」を活かし、「戦争放棄」の精神を活かす時です。私たちは今集会に結集し、今後も憲法3原則を大切にす政治の実現をめざして取り組んでいくことを確認します。

**2018年12月7日**

### 12・7平和を守る千葉県集会

太平洋戦争勃発の12月8日に二つの集会がありました。

**第10回平和を願う市民のつとめinちば  
=考えよう平和といのちの暮さを=**

### プログラム

- ・若い世代からの発言
- ・講演：藤田孝典さん(NPO法人ほっとワラス代表理事)
- ・皆で話しましょう！

**主催：平和を願う市民のつとめ実行委員会**

後援：千葉市教育委員会・朝日新聞社千葉総局・千葉日報社・東京新聞千葉支局・毎日新聞千葉支局・読売新聞千葉支局

### 平和な社会とは！！

子どもや若者が夢や希望を抱いて生きられなければ「平和な社会」とは言えません。若者たちを苦しめるブラックバイト・ブラック企業・非正規雇用・「奨学金」という名の教育ローン・憲法13条の「個人として尊重」「生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利」は守られているのでしょうか？

「下流老人」「貧困世代 社会の監獄に閉じ込められ若者たち」の著者で、実際に生活困窮者自立支援制度者支援に取り組まれている藤田さんを講師にお迎えし、その実態を伺い、全ての『いのち』が大切にされる社会にするために、私たちに何ができるか、共に、語り合しましょう。

### アベ改憲阻止！千葉県民集会

場所は千葉市民会館大ホール。

1000人の会場がほぼ満席。

講師：中野昇一さん(上智大学教授)

著書『右傾化する日本政治』(岩波新書)

『嘘に支配される日本』(共著、岩波書店) 多数。

- ・憲法改『正』に異常な執念を燃やすアベ総理。
- ・このアベ政権によって、憲法改『正』が、日程に挙げられようとしています。
- ・そして平和憲法が壊されようとしています。
- ・上智大学・中野教授とともに、憲法改『正』問題の今に斬り込み、明日の日本への展望を語り合いたいと思います。

参加政党は立憲民主党・社民党・国民民主党・無所属の会・新社会党・共産党など、そして自由党などからメッセージが寄せられました。

野党共闘で結集しました集会でした。

**主催：安保法廃止！立憲主義・民主主義をとりもどすオール千葉県の会**